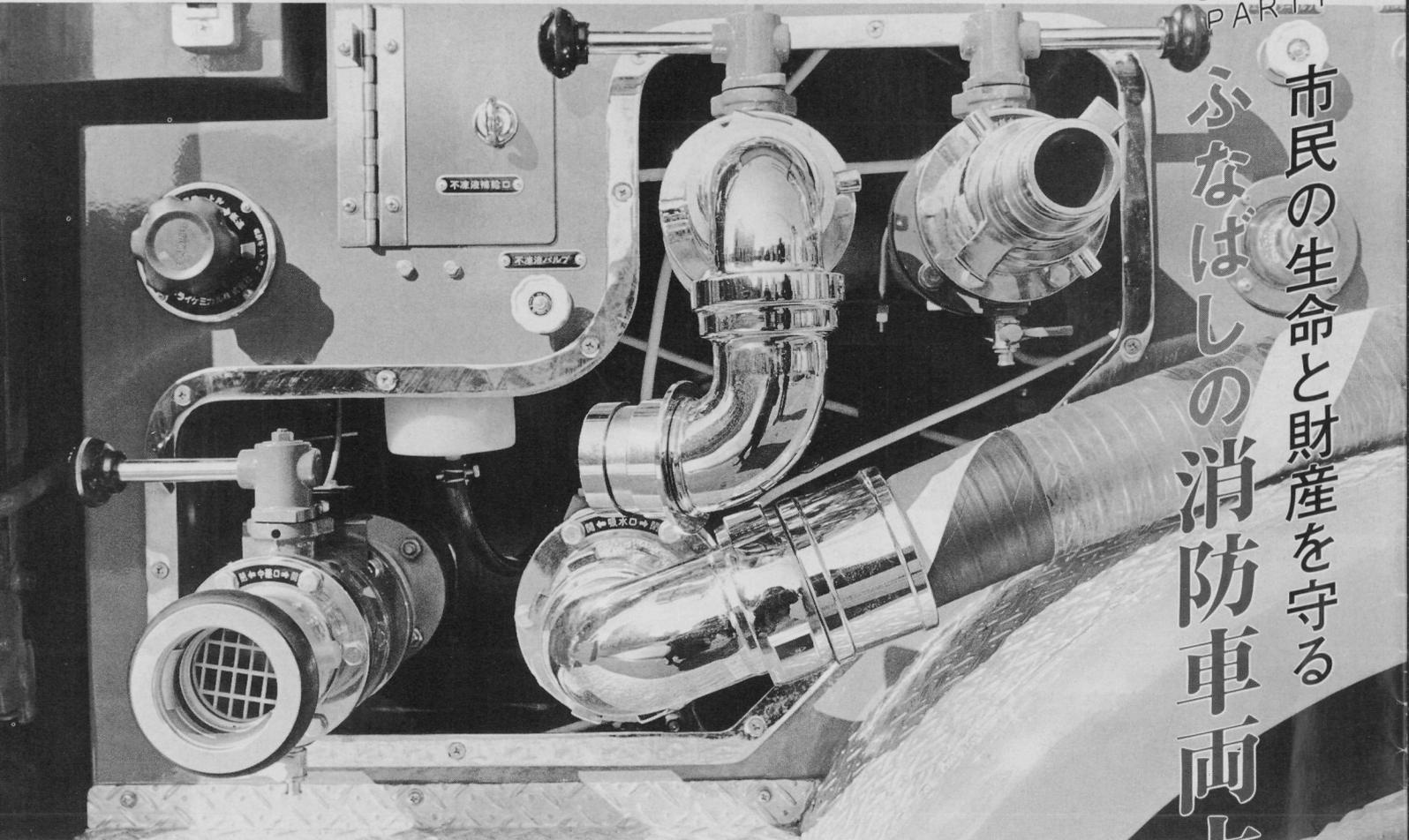


Photo ふなばし

とくしゅう
PART1

市民の生命と財産を守る
ふなばしの消防車両大集合!



ポンプ車の吸水口と吐水口

とくしゅうPART2

歩いてみる

JR船橋駅南口界隈

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問 ● サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー



夕暮れどきの船橋駅前通り

vol. 41

広報ふなばし写真版

市民の生命と財産を守る ふなばしの消防車両大集合!



小室分遣所に配備されている消防車・スーパージャイロ。4輪操舵で斜めに走ることもできる



高さ41mのはしご。上ってみると
最上部は頼りないほど細い



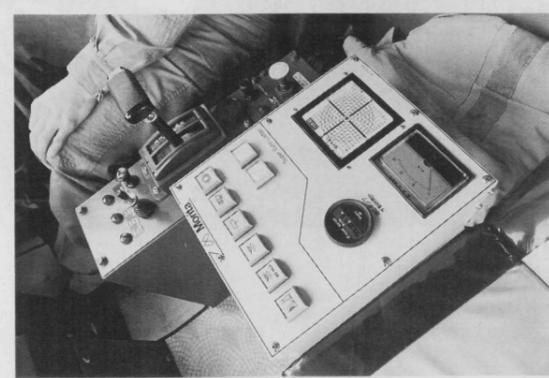
地上41mからも見た市役所付近
足下がよく見えるだけに怖い



スーパージャイロのタイヤ。直径が1.4mもある



長さ30mのはしごを持ち上げる
スーパージャイロの油圧装置



スーパージャイロのはしごの台座はこの装置により
自動的に水平を保つ



高所火災に威力を発揮するはしご車。260馬力(グロス)のエンジンで現場に急行する

平成2年中に市内で発生した火災は、193件。原因別では、放火がトップで、コンロ、たき火、火遊び、たばこの順でした。前年と比べて、火災件数、焼死者・負傷者数とも減りましたが、それでも市民の財産約3億6千万円が焼失しています。

これから春にかけて火災が増える季節。火の元に十分気をつけて、火災を起さないようにしたいものです。

平成2年中に市内で発生した火災は、193件。原因別では、放火がトップで、コンロ、たき火、火遊び、たばこの順でした。前年と比べて、火災件数、焼死者・負傷者数とも減りましたが、それでも市民の財産約3億6千万円が焼失しています。

これから春にかけて火災が増える季節。火の元に十分気をつけて、火災を起さないようにしたいものです。

快適で安全な生活を送ることは、私たちの目標であり願いです。私たちが万一、火事を起こしたり、急病になったときに、消火活動を行ったり、病院への搬送といった業務を行う消防局についても毎年、その施設、装備の充実を図ってきています。

現在、施設は、消防局を中心に中央東、北の三つの消防署があり、さらに各消防署にはそれぞれ分署・分遣所が合わせて10か所配置されています。また、市内には各地域の市民の皆さんにより結成された消防団が20分団あり、消防局・署と力を合わせて私たちの生命と財産を守っています。

消防というと、すぐ思い出すのは、消防自動車や救急車ですが、現在、消防局が保有する車両は全部で104台。この中には、日本でも最大級の48・5メートルのはしご車をはじめ、消防局が独自で開発したミニ消防車「チビ太君」や破壊放水車「キッツキ号」、一台四役の排煙兼用高発泡車などその使用目的に応じて様々な種類の車両があります。本年度は新たに、四輪操舵で力二走行などができる最新のはしご車、スーパージャイロが仲間入りするなどあらゆる状況の中で火災に対処できる体制作りを進めています。また、救急車については、一刻を争う場合も多く救急隊と受け入れ先の病院との連絡を更に密にするため、全車に自動車電話とファクスが装備されました。さらに、船橋市医師会から血圧計と心電計が全車に貸与され、急病人の状態をリアルタイムで病院に連絡することが可能になっています。



火の粉から身を守る防火衣



「ミニ消防車チビ太君」。狭い路地などで威力を発揮する

ミニ消防車

消防局が、軽トラックを改造して開発した消防自動車。350ℓの水槽とポンプを持ち、住宅密集地など、大きな消防自動車が入れない火災現場で消火活動を行うことができる。ニックネームはチビ太君。中央、東、北消防署に一台ずつ配備されている。



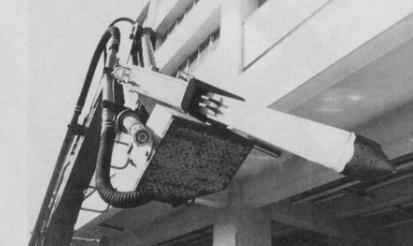
全長約3m。四輪駆動で現場へ急行する



破壊放水車キツツキ号

破壊放水車

ミニ消防車とともに消防局が独自に開発した消防自動車。窓が少ない建物の火災に活躍する。キツツキのくちばしのような破壊装置は、放水銃になっていて、壁に穴をあけて放水することができる。中央、東、北消防署に一台ずつ配備。



この破壊兼放水銃で車両や家屋の壁を突き破って消火する

大型化学車

水の代わりに化学消火液を積み、水では消えない油や化学薬品の火災に出動する。大型高所放水車、泡原液搬送車と3台一組で行動する。中央消防署に配備されている。なお、普通の化学車は、中央、東消防署に一台ずつ配備されている。



耐熱服。火元に近付き作業できる



2000リットルの化学消火液を運ぶ大型化学消防車。ポンプ車からもらった水で消火液を薄めて消火する

救助工作車

火事のほか交通事故、風水害や地震などのあらゆる災害時に出動し、一刻も早い人命救助を任務としています。エンジンカッターやチェーンソーなど様々な用具が積み込まれているほか、発電装置も積み込まれており、照明車にもなる。



チェーンソーやカッター、発電機など救助工作用機器を満載し、現場へ急行する



自動車に閉じ込められた人を救出するときなどに活躍する救助工作車

救急自動車

ケガ人や急病人をいち早く病院に運ぶ車両。車内には酸素マスクなど応急手当のできる設備がある。救急隊員は、消防本部と無線で連絡をとり、負傷者や病人・ケガ人の病状に合った病院へ搬送する。中央・東・北消防署に合わせて11台配置されている。



昨年11月に本中山分遣所に配備された救急車。2.4ℓ、120馬力。



市民の命を守るため、船橋市のすべての救急車には、電話、ファックス、そして、船橋市医師会から貸与された血圧計と心電計が装備されている



排煙・高発泡・照明・放水の4役をこなす排煙高発泡車

排煙高発泡車

排煙・高発泡・放水・照明と4役をこなす化学車。高発泡とは、消火液と水を混ぜ泡状にして噴射することで、約400倍にふくれあがった泡は、空気をささげり火災を鎮圧する。地下街の火災などに大きな力を発揮する。中央消防署に配備。



煙は毎分420立方メートル排出できる

歩いてみる JR船橋駅南口界隈



家路を急ぐサラリーマンと買い物客が行き交う夕暮れの船橋駅南口あたり



まるでショーウィンドーの中を歩いているような駅前通り



7時から8時にかけて、JR船橋駅南口あたりは、京成線からJR総武線に乗り換える通勤客で込み合う



船橋駅前通りと山口横丁を結ぶ仲通り商店街



駅前通りでは美しい町並みを目指して電線の地中化や街路灯の整備がいち早く行われた



ごはんがおいしくなると評判 佃煮の元橋商店



なつかしさをおぼえる南口の街角



乾物の吉種商店



京成船橋駅。一日の乗降客数は約13万人



買い物客でにぎわう駅前通り



船橋駅南口再開発事業の中心となる第一地区



京成とJRの乗り換え客が多い船橋。東京駅まで30分足らずで大変便利

JR船橋駅南口あたり。船橋市で一番活気のあるところだ。

この南口周辺の中心の一つが、船橋駅前通りである。土日は言うに及ばず、平日でも、通りには買い物客でこたがえしている。通りの両側には、古くから商売を営んでいる店がけっこう多い。駅前通りで花屋「植銀」を営んでいる高島正夫さんも三代目である。

「先々が80年前に創業したころには、船橋駅がよく見えたそうですよ。今は、売れる花の品種の交代が早く、花の名前を覚えるのが大変なんです。」はす向かいの「正光電気」も昭和21年ごろからここに店を構えているという。ご主人で船橋駅前商店会会長の石井佐輔さんは、大のパレード好きだ。

「市立船橋高校がいい成績を取めたと聞くと、じっとしてられないんですよ。ものすごい声援と紙吹雪がパレードの上に注がれて、それに生徒たちが笑顔で応えてくれるのを見たとき、うれしくてたまりませんね。」

この駅前通りから本町通りにかけては、船橋夏の風物詩「市民まつり」のメイン会場となる。ばか面の山車やみこしが街を練り歩くのを見るとき、昔このあたりが宿場町や漁師町であったことを思い出させてくれる。

最近、駅前通りと本町通りが交わる交差点の風景が変わり始めた。交差点の一角の再開発事業がスタートしたのである。平成4年12月には、地下2階地上10階の再開発ビルが誕生する予定である。JR船橋駅北口広場の完成をこの春にひかえ、南口も静かに動き出した。

やがて、このあたりはきれいな商店街に生まれ変わることだろう。しかし、たとえそうなっても、ご主人の威勢のいい掛け声と、おかみさんの楽しい世間話が聞ける、そんな普段着の街であり続けてほしいと思う。



切り花を扱っている植銀さん。人気商品はカスミンウにバラだそうです



音楽ファンが集まる伊藤楽器。「音楽の普及を通して社会に貢献しよう！」が会社のモットーです



街路灯がその明るさを増すころ、駅前通りは買い物客でにぎわう



夏の風物詩、産業祭りジョイ・アンド・ショッピングでにぎわう本町通り



鉢植えの花が道行く人々にうるおいを与えてくれる



本格的な工事が始まった本町2丁目再開発ビル建設現場



船橋駅前中央地区商店街連合会が作った船橋駅周辺商店街ガイドマップを先着100名の方に差し上げます。詳しくは商工会議所までお問い合わせください（電話32-0211 担当：清水）



市民まつりのフィナーレを飾る民謡パレード(本町通り)



「大型店と共存共栄できるように商売していきたいですね。」と語る船橋駅前通り商店会会長の石井佐輔さん



1月15日には新成人の晴れ着で駅前通りが華やいだ



「うちにはL(25cm)のぞうりも置いてあるんですよ。」と、いとう屋さんのおかみさん



赤ちょうちんの明かりが色を増してきた夕暮れどきの仲通り商店街



阿彌陀石仏

市史などによれば、むかし東光寺で天道念仏という宗教行事が行われ、その日は近在の浪切不動の信仰も篤かったというから、結構と知られたお寺さんだったろうと思う。現在立派な信徒会館も完成、堂宇は面目を改めているが、わずかに不動堂(宝形造・向拝付)と、参道の左右の古い石碑・石仏などが境内の一隅にぼつんと一、大きな板碑が目にとまる。見れば「義烈千秋」と篆(てん)額があり、筆勢並みではない。烈々たる気迫中、自らなる悲壯味が漂っている。陸軍砲兵少佐小林芳雄君の墓碑銘のために、陸軍大臣・畑俊六大将が寄せている。東寄り一帯は墓地——東西に細長い小丘上で、昔だったら船橋沖の賑わいを眼下に一望したであろう。土地の旧家の墓が並ぶが、中に「海老屋」が見える。かつて海老川畔にあった有名な旅館。その「海老屋」さんの墓域に小さな阿彌陀石仏が。元禄四年十月十五日、覚法幻林童子の霊のためと刻む。赤穂事件より十年前、船橋・海老川畔に生まれ、幼児、あるいは少年として世を去ったものよ。(文責：大木 勲)

新町の文化財 東光寺境内(宮本5丁目)



不動堂



市民文化ホールでイベントが終わり、観客が交差点を埋めつくす



昭和25年ごろから商売をしている伊東屋さん。季節から、一番売れているのはシクラメンだそうです



久しぶりに会う友人の姿を見付け記念撮影。そんなシーンがあちこちで見られました

1月15日(祝)、市民文化ホールで成人式が行われました。市内で今年晴れて新成人となるのは、1万489人。当日は、この内6,523人が出席、式典は3回に分けて行われました。出席された皆さんは、大橋和夫市長の「国際感覚のある立派な人になって下さい。」との祝辞に真剣にうなずいていました。また、会場では久しぶりの再会にあちこちで同窓会が始まり、時のたつのも忘れて旧交を温め合っていました。

おめでとう!

明日の船橋を担う若者に 1万489人が新成人に



慣れない背広や晴れ着に皆さん少々緊張さみ



新成人の門出を祝って祝辞を述べる大橋和夫市長



「今年は6位以内を目標に頑張ってきたので今日の走りは満点でした」と海神中の皆さん

成人の日記念

第35回市民駅伝競走大会開催

1月15日(祝)、成人の日記念市民駅伝競走大会が運動公園陸上競技場を発着点とする7区・23.3kmのコースに、中学校・高校・一般の各部に75チームが参加して行われました。当日は好天にも恵まれ、熱戦が繰り広げられましたが、中学校の部では海神中、高校の部では県立船橋高校、一般の部ではNTTランニングがそれぞれ優勝を飾りました。



寒風吹きすさぶなかレースは始まった

「ちきゅう・いのち・くらし」をテーマに 第25回生活展開催

1月17日(木)から22日(火)まで東武百貨店船橋店で生活展が開催されました。市内の消費者団体が暮らしの中の様々な問題について研究した成果を発表する場として、毎年大勢の皆さんが訪れる生活展。今年は、「ちきゅう・いのち・くらし」をテーマに行われましたが、関心の高い環境問題や健康についての展示の前では、訪れた皆さんが熱心に説明を受けていました。



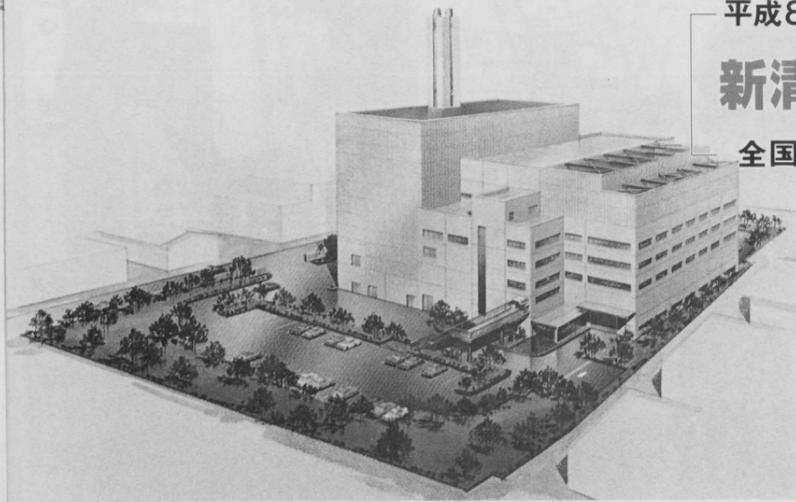
説明を熱心に聞いて回る大橋和夫市長と関係者の皆さん

生活と密着した問題だけに、回を重ねるごとに関心が高まります

平成8年度完成に向け平成5年度着工

新清掃工場建設決まる

全国初の下水施設との複合施設に



新清掃工場の完成予想図

市では、年々増え続けるごみの処理については、計画的に事業を進めています。現在、改修中の北部清掃工場を含めて三つの清掃工場がありますが、このうち来年4月耐用年数を迎えるごみ焼却場・西浦町事業所の約9,000㎡の敷地に、平成8年度完成を目指して新しい清掃工場を建設することになりました。同工場は、土地の有効利用を図るため、駐車場などの敷地約3,000㎡の地下に雨水滞水池を併設する複合施設となります。また、最終処分場の確保が困難になってきているため、ごみと一緒に下水汚泥を焼却し、年間約2,400トン出る下水汚泥の減量化(約1/6)を図ることになっています。さらに、ごみ焼却時に発生する余剰蒸気を隣接する下水処理場にも供給するなど熱利用も計画しています。同工場が完成すると、市のごみ焼却能力は三つの工場で計1,110トンとなり平成15年までは対応できることとなります。



昭和47年から市内のごみ処理を続けている西浦町事業所

安全で住みよい 地域づくりを目指して 新春恒例の出初め式

平成3年1月8日(火)、船橋オートレース場で、新春恒例の消防出初め式が行われました。官民がともに力を合わせて災害を防ぎ、安全で住みよい地域づくりをめざすこの出初め式。20消防団を含む約1,200名参加のもと、消防活動に貢献された方々の表彰の後、大橋和夫市長と長谷川消防局長による観閲、若鷺会によるしご乗りや保育園児によるミニ消防車ポンプ操法などが披露され、市民の皆さんから盛んな拍手が送られました。



若鷺会の皆さんによるいなせなはしご乗り



保育園児の幼年消防クラブの皆さんによるポンプ操法



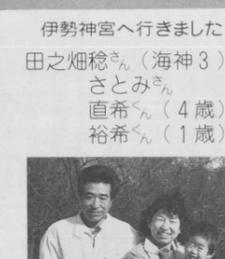
今年、御滝山不動尊と大神宮の両方行きました
遠藤昌子さん(松が丘1)



浅草寺へ家族で行きました
三代川広美さん(駿河台1)
優紀ちゃん(2歳)



毎年、船橋大神宮へ行っています。
相川幸蔵さん(南本町)



伊勢神宮へ行きました
田之畑穂さん(海神3)
さとみさん
直希くん(4歳)
裕希くん(1歳)



卒論で忙しくてまだどこにも行っていません
金子真紀さん(二和東4)

市民ひとことインタビュー
初詣はどこに行きましたか?

湊町で 家内安全を願って棟上げ式



棟上げ式のフィナーレは鏡もち投げ。中には5000円札が入っていました



関係者の皆さんの手でみかんやもちなどが投げ込まれました

12月17日(月)、湊町1丁目の高村さん宅で建て前が行われました。家内安全、商売繁盛等を願って行われてきたこの儀式も最近あまり見かけなくなりましたが、当日は、親戚の方や近所の人たちが大勢お祝いに集まり、投げられたおもちやおひねりを手に大喜び。寒さを吹きとばす熱気あふれる棟上げ式となりました。



お祝いに駆けつけた大橋市長を囲んで記念写真

田喜野井町会 待望の自治会館が完成

1月19日(土)、田喜野井町会に待望の自治会館が完成、その祝賀会が町会の皆さんをはじめ、大橋和夫市長、長谷川伸一消防局長など大勢の皆さんが出席して行われました。建物は2階建てで消防団(第15分団第2班)の消防庫が併設されています。今後は、町会や子供会などの様々な活動に利用されることとなります。



消防庫が併設されている新自治会館

きりえ画家 井出文蔵さん

(北本町2丁目)

アトリエ訪問



仕事は明るいうちに済ませるといふ井出さん。部屋のなかにはFM放送が静かに流れていた

京成船橋駅からほど近い勤労市民センター。その地階にあるホールに入ると、夕焼けに染まる懐かしい漁師まちの風景が鮮然と目に入ってくる。その靉々の絵を描かれたきりえ画家・井出文蔵さんのアトリエに伺った。

JR船橋駅の北口から夏見に抜けるバイパス沿いに5階建てのマンションが6棟建っている。その内の1棟の最上階で井出さんは出迎えてくれた。

仕事場として使っている南側に面した6畳程の部屋に入ると、まず、蔵書の多さに驚かされる。

「狭くて驚いたでしょう。アトリエなんて言えるかどうか。外国物の挿し絵を頼まれることもあり、資料もまだまだ置きたいんですけど」。見ると、天井近くまで美術書や図鑑、民話集等が整然と並べられている。

井出さんという民話や農村の風景を題材にした作品のイメージが強い。「信州の田舎で少年時代を過ごしたせいでしょうね」。

「農家の長男ということから一度は地元郵便局に就職したんですが、どうしても絵の勉強をしたいという気持ちが強くなって東京に出ました。画廊・美術館



柔らかい陽の光がさし込むアトリエ

にはよく通いましたね。当時は、油絵や水彩画などいろいろ描いていたという。井出さんがきりえを始めたのは東京に出てきて15年経った38歳のころ。民話と文学の会に入会、その機関誌「民話」の編集に携わって、ちよと、レコードジャケット用の絵を依頼されたり、名前が世に出始めたころでした。最初は切った絵を印刷紙に焼き付けたりいろいろな表現方法をやりました。

この後、40歳の時一年間の闘病生活を体験、きりえ中心の創作活動に入るようになる。

きりえといつても、最初は筆や鉛筆で原画を描く。その原画を薄い紙にトレースし、トレースした紙と黒い和紙を合わせてナイフで切り抜いていく。とても集中力が要求される作業だ。

「病後は、あまり細かいものはやらなかったんですが、もともと好きなので、ますます最近ではまた、増えてきましたね」と穏やかに話す。その姿を見ているとそのまますの作品の登場人物のような気がしてくる。

船橋市には昭和55年から在住。日本きりえ協会常任委員、昭和61年に船橋市美術連盟会員となる。今は、制作活動の傍ら、絵本・単行本・雑誌などの表紙絵や挿し絵の仕事に精力的にこなしている。

また、前述した勤労市民センター・ホテルの襪帳のほか船橋橋、海老川橋のレリーフのための原画(楳、市制50周年記念イメージソング「海の見える街で」)のレコードジャケットデザインなど市の仕事にもご協力いただいている。



全国学校合奏コンクール 三田中 三年連続日本一!

1月22日(火)、平成2年度全国学校合奏コンクールで見事最優秀賞に輝いた三田中学校管弦楽部の記念演奏会と同賞の授与式が三田中学校体育館で行われました。同コンクールで3年連続最優秀賞という快挙を成し遂げた同校には、真紅の優勝旗が永久に授与されることになりました。これは小栗原小学校に次いで2校目となります。記念演奏会では、感激も新たに受賞曲のペルリオス作曲「幻想交響曲」などを演奏、生徒や父兄でいっぱい会場から大きな拍手が送られました。

三田中管弦楽部の部員数は約130人。そのほとんどが入部してから楽器を手にしたそうです



記念演奏会で指揮をする安藤純先生



3年連続優勝したので、優勝旗は三田中に永久保存されます



優勝旗を永久保存する中学校は全国で三田中が3校目です



菓子投げは冬の寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれた

新成人の門出を祝って 船橋大神宮の灯明台点灯

1月14日(月)、船橋大神宮で灯明台祭が行われました。この灯明台は、明治の初めまで灯台として船橋の漁師の皆さんの道標として活躍していたもので、県指定文化財となっています。現在は、年一回、成人の日前夜に行われる灯明台祭で、新成人の門出を祝って点灯されます。大勢の皆さんが見守る中、新成人三人の手により一年ぶりにその美しい光が夜空に輝くと境内は拍手に包まれました。当日は、甘酒やおそうじにもふるまわれるなど訪れた皆さんも楽しんでいました。



みんなの視線のなかで行う鏡割りは一生に一度のチャンス

ふしびの民話

毘沙門堂の黄金

文・村上昭三

毘沙門丸は本郷村(現・西船五ノ六丁目周辺)を過



むかし、むかし、船橋の今の田圃は殆ど海でした。台地に挟まれた支谷には海水が満ちていました。ある年のことです。相模国(さがみのくに)の方面から、対岸の房総を目指して軍船の一団がやって来まして。この船団は、途中で激しい暴風雨に遭って散り散りになり、武将を乗せた船の一隻だけが船橋浦に辿り着きました。この船の名は毘沙門丸と云いました。毘沙門丸には、兵糧の外に、黄金を山のようにな積んでいました。武将は、この土地に迂回(うかつ)に上陸することが出来ずに迷ってしまいました。そこで、武将は船頭に向って

「ともかく、入江を遡って見ることにしよう」といつて指図をしました。

「すぐに逃げよ」と大声で命じました。そこで、乗組員の全員は、何も持たずに近くの台地へ通れました。それから、黄金を積んだ毘沙門丸は、あつという間に海底深く沈んでしまいました。

その後、時は過ぎ、この毘沙門丸の沈んだ一帯は谷津田となりました。そして、この辺りの村人たちは、毘沙門丸の沈んだ所に小塚を築き、この塚を何時しか毘沙門堂と呼ぶようになったという事です。また、毘沙門丸とともに沈んだ黄金は、後に掘り起したとか、現在も地下に眠っていると



毘沙門堂跡といわれる場所には今も小塚が

ぎ、そして寺内村(現・西船七丁目周辺)を通過して、古作村(現・古作一ノ四丁目周辺)へと進んで来ましたが、どこへか、毘沙門丸は、先刻の暴風雨に翻弄(はんろう)されて、船の至る所が破損してしましました。特に船底が大変傷んでいました。

古作村の付近まで来て、船底からどんどん海水が入って来まして。船上の兵士たちは慌てふためき、黄金を持って逃げようとした。しかし、人命が何よりも大事と考えた武将は「黄金は構うな。体一つ

ART 押し花絵

小さいころから花が大好きでした

山岸英子さん (二和西4)



「押し花は、空気に触れるとすぐ変色してしまうので、頭の中で練りに練って二日くらいで一気に作るんです。山岸さんが押し花絵に出会ったのは7年前。公民館の講座でした。「花はもちろん絵や音楽など感性に関するものが好きだったのですぐ始めました。いつも頭の中で、絵のモチーフやそれに合う花をイメージしていきすね」。押し花用の花は、自宅や借りている農園で300種以上育

てています。ときには、花の採集のため遠出することもあるとか。市内の児童ホームで指導したり、自宅で教室を開いています。子供たちが花に興味を持ってくれたときがうれいという山岸さん。一年がかりで制作していた本もこの4月には出版されます。小さな花の中にもきつとすばらしい世界がある。そんな作者の想いがその作品から聞こえてくるように。

マイ・ファッション



ジーンズが一番しっくりしますね
齊藤直美さん(湊町1)

「普段はジーンズが多いですね。動きやすいし、しっくりするんです。齊藤さんは、短大の2年生。フキポー(小型のサーフボード)で波乗りをしたり、高校時代の友達と結成したバンドでボーカルを担当するなど活動的なお嬢さん。アクセサリーなどの小物の中では、アメリカに行ったときプレゼントされた、銀のフォークで作った指輪が一番のお気に入りとか。好きな色は、青、白、水色という齊藤さん。スリムのジーンズと白と紺のボーダー柄の綿シャツにネイビーブルーのパーカーのコーディネートがとても爽やかです。

気功研究会
丸山公民館

昭和63年9月に発足した気功研究会。練習は毎週土曜日で会員は13名です。柔軟体操で体をほぐした後、宗次郎の音楽に合わせて、起式から収式まで全64式を10分ほどかけて行います。腹式呼吸法で血圧を下げたり、血の循環をよくしたりするこの大雁功、若い人からお年寄りの方までどなたでもできるとか。早い人は、はじめてから一月ほどで効果がでてくるそうです。発足して日が浅いだけに、みんなでリラックスできるような雰囲気作りを心がけています。あなたも仲間に入りませんか。(連絡先:塩沢知子 ☎39-1481)



水鳥をイメージしながら呼吸を整えるのが大雁功の特徴



毎日続けることが大切です



何でも買える時代だけに自分で作る喜びは格別です

みんなのひろば
通信サークル



▲正月にはみんな着物で出かけました

◀年齢や体型など、その人に合った着付け方があるんです

「これからも焼き物を作る楽しさを追求したい」と皆さん



あい・らぶ・ふなばし

東京に近いし
住みやすいまちですね

李 青海さん (夏見6)

「東京に近いし、鉄道も発達して住みやすいまちですね。市内夏見にお住まいの李さんは、中国・上海市の出身。中国で、プロ棋士(七段)として活躍していました。一昨年5月に来日。「日本の囲碁は中国と考え方が違いますからその辺を勉強して実力をつけたい」と思っただけです。現在、日本棋院で、対局を見学したり、研究会



に参加しながら腕を磨いています。「船橋市は、西安市や上海市と囲碁を通じた交流をしているので、私たちプロの圈でもとても有名です」と李さん。夢は、日本の試合に出場して活躍することです。JR津田沼駅前にある日本棋院津田沼支部で指導者をやっていますので、李さんの囲碁と出会いたい方は是非、どうぞ。

お店
手作り料理の店
とんがらし

習志野台7
☎4847



「とんがらし」は、静かな住宅街にたたずむかわいいうえストランです。一年ほど前に改装を施し、外観も店内も白で統一。シンプルなデザイン、椅子とテーブル、そして白いグラインドピアノが、とても落ち着いた雰囲気をおもひだしています。メニューは西洋料理全般で、すべて手作り。料理を作るころもお客様に見て楽しんでいただく、オープンキッチンになっています。おすすめは、「仔羊のヒレ肉きのソースがけ」においもく柔らかくて、ぜひ一度試してみてください。料理のひとつだそうです。お客様は、クチコミで知った近所のファミリーやカッパルが中心ですが、最近では市外から来てくださる方も多くとか。「春には、柔らかな日差しが注ぐテラス、そこで食べるランチが最高なんです」と、そつと奥さんが教えてくれました。気になるお値段もランチが千円からと、手軽な予算でおいしい料理と静かな雰囲気味わえる。掘り出し物のお店です。

北都公民館
とよみ陶芸クラブ

ただの粘土が1時間もすると花器や茶碗の形に変わってゆきます。とよみ陶芸クラブは、昭和58年に発足。練習は月2回、第2・第4土曜日で、会員は23名です。1回の練習で一つないし二つの作品を完成させます。実用的なものを作るのがこのサークルのモットー。「自分で作ったものを家族みんなで使えることが何といてもうれしいですね」とはある会員の声。中には今まで100をこえる作品を手がけた方もいるそうです。将来、焼き物の産地に見学ツアーに行くのが夢とか。(連絡先:由良しげこ ☎63-4184 PM7:00~)



犬のぬいぐるみが好きで、ペースケ

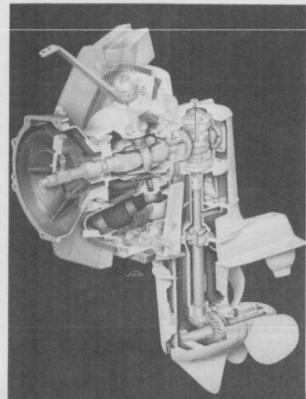
なまえ
ペースケ
(ホワイトペキニーズ)

オーナー
橋本正廣
ちえ子さん
(本町5)

僕はホワイトペキニーズ犬のペースケです。1歳8か月、人間でいえばちょうど成人したところかな。自分で言うのもおかしいけどこの辺じゃあまり見かけない犬だ。だって普通ペキニーズって茶色が多いんだ。ところで僕の好物は、とり肉とチーズ、それにアメリカ製のドッグフード。日曜日が早く来ないかな。だってお父さんが散歩に連れて行ってくれるんだもん。みんなに相談があるんだ。僕どうやらいびき声が大いらいしいんだ。お父さんに悪くてネ。いい方法あったら誰か教えてネ。

普段はおとなしいけど怒ると鳴き声にドスがあるんですよ、と橋本さん

あとがき



竹口静雄・作品展

会期 2月1日 ⇨ 2月28日
※市役所の休日にご注意下さい

会場 市役所1階美術コーナー

●工業製品の立体的な透視図・断面図を画く、テクニカルイラストレーションの世界をお楽しみ下さい。

問い合わせ 広報課 ☎2015



男子1区で区間賞を獲得した渡辺選手(セッケン12番)



表彰式を終え男女仲良く記念撮影



男女アベック入賞を果たしたお祝いのパレードで声援に笑顔で応える市船陸上部の皆さん



女子1区で力走する大谷選手(セッケン12番)



1月3日の2回戦で清水市立商業と互角の戦いを見せた市船イレブン

昨年12月23日(祝)、京都で行われた全国高等学校駅伝競走大会にアベック出場を果たした市立船橋高校は女子準優勝、男子8位入賞と大健闘しました。一昨年初代女王となった女子は、2年連続優勝こそならなかったものの、アンカーの川嶋選手が区間賞を獲得するなどメンバー全員の力走で、1時間9分14秒の高校日本最高、大会新記録で準優勝に輝きました。男子は、第1区の渡辺選手と2区の坂本選手が区間賞でトップを走るなど健闘、6年連続入賞という記録を達成しました。

1月1日(祝)に幕を開けた全国高等学校選手権大会に出場した市立船橋高校イレブンは、1回戦で高松商業に2対0で勝ち2回戦に進出、2年前の同大会の決勝戦で戦った強豪清水市立商業との対戦となりました。試合は、PK戦までもつれる大熱戦の末、惜しくも雪辱はなりませんでしたが、両校のファイトあふれるプレーにスタンドからは惜しめない声援が送られました。

スポーツで健康ふなばし

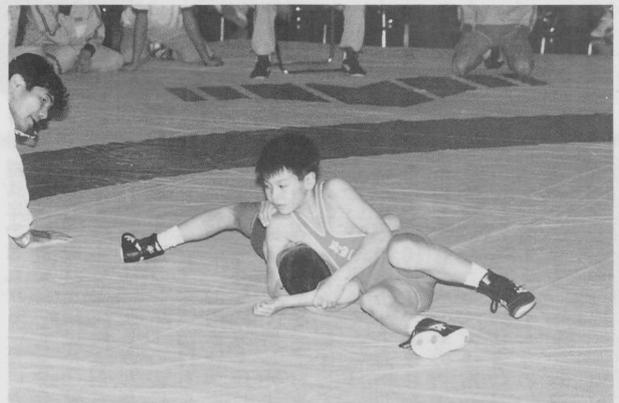
こんにちは…

船橋の最新情報は
BAY・FMでキャッチ!!

「フナバシ・タウンクルーズ」

毎週土・日あさ7時55分
からON AIR(78MHz)

DJ:西滝礼子



昨年12月24日(月)、武道センターで第6回千葉県中学生新人アマチュアレスリング選手権大会が開催されました。これは、船橋市アマチュアレスリング協会が発足したのを記念して行われたもので、37kg級から83kg級までの11階級に48人が参加、熱戦が繰り広げられました。